

センター月だより

〒 507 0034 多治見市豊岡町 55 ヤマカまなびパーク4F TEL 0572- 23 - 3455 FAX 0572- 26 - 8813

指導日誌より

= 土岐地区 =

土岐市駅の駅員さんの話では、午後 3時半過ぎに時々たわむれている子どもがいるとの事でした。(11/4 泉 8)

駅周辺は落ち着いた様子だったが、出入口横の階段に食べ残しなどのゴミが多い。(11/10 土岐津 7)

コンビニの店頭で日没時、お菓子を食べている小学生や、ジャージ姿で歩く中学生に声かけした。(11/12 妻木 3)

平成公園は雨のためか、子どもたちに出会うことはありませんでした。東屋の梁に成人向けの雑誌が二冊乗せてあった。(11/18 特 A)

朝からの寒さと夜の暗さとで、どこに寄っても若い人がいませんでした。冬の夜は声かけの出来る人を探すのが大変になります。(11/27 下石 2)

= 瑞浪地区 =

駅前駐輪場から帰宅する高校生男子 3人が無灯火だったので指導すると、2人はすぐに点灯した。1人はライトが無かったので取り付けるように指導し

た。駅に向かっている女子高生がスマホを見ながら歩いていたので、危険だから止めるように注意した。(11/11 日吉 I)

巡回後、コミュニティセンターに戻ると、小学生 5人と父母の親子連れがジョギングを始めるところで、運動のためによくここにきているとの事。家族で過ごす時間を大切にしておられる様子に、心地よい気分でした。(11/12 稲津 F)

今回は JR利用客が多い時間に、釜戸駅を巡回したが、社会人が多く学生はいなかった。(11/16 釜戸 G)

駅前で高校生数名にあいさつ、声かけ。雨のため、人通りは少なかった。(11/18 瑞浪 A)

活動は朝、校門であいさつ運動を行いました。班員からの話で、自転車通学の生徒の中に無灯火で下校する生徒を見かけたという。その場で声をかけていくようにします。(11/18 陶 E)

寒くなってきたのでウォーキングしているのはタスキをかけた老夫婦一組だけでした。瑞浪駅では電車が到着すると人や車であふれ、一時的に活気ある様相を呈していました。(11/24 明世 H)

◆◆◆ 11月 声かけ活動の結果 ◆◆◆

| | 多治見地区 | 瑞浪地区 | 土岐地区 | 合計 |
|--------|-------|------|------|-----|
| 指導人数 | 2 | 4 | 0 | 6 |
| 声かけ人数 | 553 | 104 | 125 | 782 |
| 指導員参加者 | 69 | 28 | 32 | 129 |

= 多治見地区 =

下校中の高校生と多数、あいさつをした。大人よりも高校生の方があいさつを返してくれた。(11/10 精華 2)

まなびパークや多治見駅のコンコース、駅北で下校中の高校生に声かけ、あいさつを多数交わすことができ、元気をもらいました。(11/10 南姫 9)

駅東の大踏切手前をヘルメットを被らない男子小学生2人を止め注意した。「暑くてはずしちゃった。」と言い訳していた。(11/15 池田 6)

交流センターにいた子どもたち、その保護者に声かけ、あいさつ。雨だったが、多くの利用者が卓球教室や体操教室など、いろんなセミナーに参加していた。(11/18 根本 10)

溪雲寺の「お薬師」の日でした。雨の中、小中学校の指導の先生も加わり、屋台のまわりに集まっている子に声をかけました。特に問題はありませんでした。(11/18 笠原 13)

小・中・高校生の下校時刻で、どの児童・生徒もともに元気にあいさつを返してくれた。一般の方もよくして下さるようになった。(11/19 養正 1)

昨日の雨が街中をきれいにしてくれたようで、さすがに秋らしくなってきて段々寒さが身にしみるようです。子どもたちは寒さに負けず元気な様子でした。暗くなるので自宅へ帰るように声かけした。(11/19 脇之島 12)

下校中の児童・生徒にあいさつ、声かけを行なう。滝呂台出口のT字の交差点で自動車同士がぶつかりそうだった。交通量も多く危険だと思った。(11/27 滝呂 8)

市営住宅公園での子どもたちのあいさつが、非常に良かった。中学生と小学生が仲良くできている。(11/28 北栄 1)

「育ち直し」

ひとこと

選挙権年齢の18歳以上への引き下げに伴い、少年法の適用年齢を「18歳未満」に下げる動きがある。元少年院院長の八田次郎さんは少年法の精神である「育ち直し」の機会を奪うと批判している。

八田さんは「刑務所では十分な教育プログラムを受けられない。・・・刑事処分なら初犯の窃盗などは、起訴猶予か、せいぜい執行猶予付き判決だが、少年院なら矯正教育が受けられる。教育の機会を与えないまま、レッテルだけ貼って野放しにするも同然で、再犯の可能性は高まる。」と危ぶむ。・・・

法改正の理由とされる少年事件は、実際に増えているのだろうか。

警察庁によると、昨年、刑法犯として検挙された少年は48,361人。ピークだった1983年(19万6千余人)の約四分の一にまで減った。殺人など凶悪犯も減り続け、昨年は十年前と比べ、約半分の703人だった。・・・

八田さんは「政府は少年犯罪の根を絶つ方策を考えるべきだ。どうすれば子どもの成育環境を整えられるか。貧困が少年犯罪を生む土壌になっていることは否めず、格差をなくす社会づくりこそ、もとめられているのではないか」と述べている。

中日新聞 2015年12月2日朝刊より

< センターから >

一万円札を両替え・・・

土岐地区8班の日誌に、店舗の方の話として次のような情報がありました。《一万円札を両替してずっとゲームをしてかなりの金額を使っていた小学生がいた。5時を回ったのでお店の方が「もう帰りなさい。」と言うと、帰ったそうです。》10月にも土岐地区6班の日誌で、これも書店の方の話ですが、《小中学生の3人連れが2日間とも一万円の買い物をするので様子を見ておく。》との情報がありました。この時はセンターの方で書店に行って確認をしましたところ、その後は来ていないとのことでした。東濃地区の生徒指導基準では、小中学生のゲームコーナー立入り等は保護者同伴になっています。しかし、店舗の方も上記のような場面では、子どもとはいえ相手はお客ですから対応に苦慮されていると思います。保護者や回りの大人が、しっかり見ていきたいものです。